

ベ"議会だより つかい

第99号

2021年11月



オンラインで商工会と意見交換を行う産業建設常任委員会

特集

議会の新しいカタチ、 オンラインの活用..... 2

ヤチカンバ群落地の具体的な保護対策について調査..... 3

新型コロナワクチン接種対象者、満12歳以上に拡大..... 4

水産系副産物再資源化施設の課題を調査..... 5

一般質問(田村、中村、瀧川、木嶋、外山の5議員)..... 6

定例会・臨時会のまとめ..... 11

議会のうごき..... 12

シリーズ 町民に聞きました

ウィズコロナ時代の新しいカタチ 12



北海道別海町議会

議会の新しいカタチ、 オンラインの活用



長引くコロナ禍により、社会のあり方や生活のスタイルも大きく変わってきています。議会もその影響を受けていて、感染症対策の観点から、人が集まる機会をできるだけ抑える取り組みを行っています。

昨年、議会用のタブレットを導入してからは、情報通信技術を活用して、オンラインでの委員会の開催や研修会の参加、他議会の視察対応などを実施しています。

しかし、例年実施している地域めぐり懇談会や意見交換会は、不特定多数の人が集まる機会であるため、昨年から実施できていません。

議会にとって、皆様の声を聴く広聴は欠かすことのできない重要な取り組みであるた

め、今年度は新しい手法を用いて実施することにしました。

オンライン会議と ライブ配信の活用

「別海町におけるコロナ禍

の今とこれから」をメインテーマに、3つの話題に関連する方と議会でもオンライン会議を活用した意見交換を行います。さらに、その模様をYouTubeでライブ配信を行い、広く町民の皆様が生中継を見てもらい、コメントをお寄せいただく仕組みです。

初めての取り組みとなりますが、スマートフォンで左のQRコードを読み込み、ぜひご参加ください。

お知らせ

地域めぐり懇談会

YouTubeにてライブ配信

11月25日(木)

15時～16時30分

コメントでご意見をお寄せください。



メイン
テーマ

別海町における
コロナ禍の今とこれから

GIGAスクール構想とコロナ禍の教育

児童・生徒1人に1台のタブレットが整備され、今後の教育への期待と不安を子どもと親の目線から意見交換。

コロナ禍で福祉施設と病院はどう変わった

福祉施設での感染予防対策と病院での診療・治療に関する状況と課題を意見交換。

別海町の地域経済はコロナ禍をどう乗り切るか

長引くコロナ禍による商工業への影響と国や道、町独自の経済対策の効果について意見交換。

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 木嶋 悦寛 副委員長 佐藤 初雄 委員 小林 敏之・大内 省吾・横田 保江

ヤチカンバ群落地の具体的な保護対策について調査

第2回定例会以降の主な調査は次のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染症対策
- ふるさと応援制度推進事業
- 地域情報化の推進
- 防災対策の推進
- いじめ不登校問題対策事業
- 特別支援教育の推進
- 移住定住促進対策
- 生涯学習センターの進捗
- ヤチカンバ群落地の具体的保護策について

新型コロナウイルス感染症対策

主にワクチン接種状況や、管内および町内の感染者の状況などの報告を受けました。道は、6月20日から全ての

感染者について、人数のみを公表することに公表方法を変更しました。

6月20日から9月14日現在までの累計感染者数は、町内で19人、管内では124人でした。

市町村別の公表は一週間毎となったことから、委員からは福祉施設や事業者は町内の毎日の感染情報が必要としている点を指摘しました。

ヤチカンバ群落地保護の具体的対策は

ヤチカンバは、日本においては稀少で特異な北方系湿生低地ツンドラ低木です。

氷河期からの遺存種と考えられ、別海町と更別村の2カ所にのみ隔離分布する北海道特産種です。



ヤチカンバが群生している西別湿原

平成23年3月には、北海道指定文化財（天然記念物）に指定されています。

昭和49年6月に別海町で見られて以降続く保護対策が、今後どのように実効性をもつて取り組まれていくのかを中心に調査を行いました。

今年度は国庫補助を受けた事業が組まれており、保護対策検討委員会の開催をはじめ、花粉分析や年代測定、調査報告書の発行などを予定しています。

今後は、国指定の天然記念物指定申請や保存活用計画の策定、整備事業開始に向けた基本計画、実施計画の策定な

どが令和10年度にかけて行われます。

- また具体的な保護策として、定期的な植生調査の継続
- 群落地に関係する湿原の乾燥化を防ぐ対策の実施
- エゾシカの食害を防ぐための侵入防止対策の実施
- ヤチカンバ雑種の除去
- 外来種や競合する植物（ヤチハンノキ）の除去

今後、委員会としては、経過に注視するとともに、先ごろ町内の宮舞町湿原で見えられたムセンズゲ（やはり氷河期からの遺存種）の調査や保護の取り組みについても調査を進めたいと考えています。



ヤチカンバの雌花

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 今西 和雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・瀧川 榮子・宮越 正人

新型コロナウイルス ワクチン 接種対象者、満12歳以上に拡大

当初、新型コロナウイルス ワクチン接種対象者は、16歳以上1万2,327人でした。

その後、一部小学生も含む満12歳までに拡大され、外国人の人数精査などもあり、1万3,540人となっています。ワクチン供給は不安定な状況が続いていますが、中高生向けのワクチンは必要量を確保していると報告されました。

また、接種は順調に進行しており、町立別海病院での集団接種は10月末までには完了する見込みです。

今後、9月以降に満12歳を迎える小学生や、さまざまな事情で接種の機会を逃した方などを対象に、町立別海病院で個別接種の予定です。

接種体制・実施内容は協議中と報告がありました。当委員会は、接種対象者の

住民がスムーズに接種できるよう重ねて申し入れました。

町立別海病院、コロナ 感染者再度受け入れ

町立別海病院では、5月14日から新型コロナウイルス感染症の軽症者受け入れを開始していました。

6月18日に全員が退院し、7月12日より産婦人科診療を再開しましたが、8月に入り根室管内において新型コロナウイルス感染者が多くなり、産婦人科を休診し、8月18日より再度新型コロナウイルス感染症軽症者の受け入れを再開しました。

委員から、コロナ病床で対応する看護師は確保されているかの問いに、専属的になるが、負担が過度にならないよう対応しているとの報告があ

りました。

別海町地域福祉計画 策定へ

地域における高齢者、障がい者、児童の現状やニーズを的確に把握し、防災対策・自殺対策など北海道と連携した「別海町地域福祉計画」を令和4年3月までに策定します。

これまで策定されているさまざまな福祉計画の上位計画となるもので、総合計画に合わせた内容となります。

まず庁内検討委員会で、計画概要・骨子・素案が作成され、その後、公募3人、関係機関、団体12人の15人で構成された策定委員会で検討・意見交換が行われます。

12月から1月にはパブリックコメントを実施。

寄せられた内容を確認・検討し同時に計画（最終案）についても検討していきます。

当委員会には令和4年2月に計画内容が説明・報告される予定となっています。

■ コロナワクチン接種実施 (10月17日現在)

区 分	対象人数	回数	実績人数	接種率
65歳以上	4,377	1回目	4,066	92.9%
		2回目	4,029	92.0%
60～64歳	1,037	1回目	967	93.2%
		2回目	949	91.5%
50～59歳	1,776	1回目	1,587	89.4%
		2回目	1,555	87.6%
40～49歳	2,022	1回目	1,813	89.7%
		2回目	1,775	87.8%
30～39歳	1,720	1回目	1,516	88.1%
		2回目	1,454	84.5%
20～29歳	1,381	1回目	1,184	85.7%
		2回目	1,107	80.2%
12～19歳	1,227	1回目	984	80.2%
		2回目	927	75.6%
合 計	13,540	1回目	12,117	89.5%
		2回目	11,796	87.1%

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 松壽 孝雄 副委員長 小椋 哲也 委員 中村 忠士・松原 政勝・田村 秀男

水産系副産物再資源化施設の課題を調査

水産系副産物再資源化施設は、(株)ばんけいリサイクルセンターに業務委託し運営されています。

主にヒトデとホタテのウロを原料として堆肥化を行う施設で、年間約1万トンの処理能力があります。



不良在庫のホタテウロ発酵物の処理と今後の対策が課題

ホタテのウロには、有害な

カドミウムが微量ですが含まれるため、堆肥として基準値以内でも商品としての取り扱いが難しく、近年はほとんど販売が進んでいませんでした。

その結果、発酵させたホタテのウロの在庫が大量に累積し、ウロの新規受け入れを一時中断し、焼却処分する必要性に迫られている状況です。

過去の運営や課題の発生した経緯などを調査し、今後の運営の方向性や再発防止策について、現段階での確認を行いました。

12月からは新たなホタテのウロの受け入れも始まるため、漁協や事業者を含めた協議結果について、次回以降の委員会でさらに調査します。

中山間の地域等直接支払制度の改正

制度改正により、中核的リー

ダーの指定人数が制限され、所得超過者で交付を受けられない農業者が出てきます。

別海町集落として取りやめた活動や交付額への影響などについて調査しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策

中小企業等経営持続化補助金の申請状況、プレミアム付商品券事業の実施概要、べつかい宿泊割事業の実施概要などを調査しました。

別海町酪農研修牧場

施設の老朽化、研修生の確保、指導員や作業員の高齢化および人員不足など課題が山積しています。

現状の施設規模を維持したままの運営が困難なため、今

後5、6年をめどに第2実践牧場を廃止、第1実践牧場に研修機能を集約していくとのこと。

借入金1億円の元金償還について株主間で協議し、町が3分の2、農協が3分の1の負担割合で、令和3年度から令和6年度まで負担していきます。

閉会中の所管調査事項

- ①新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について
- ②水産系副産物再資源化施設の運営について
- ③国営土地改良施設維持管理事業（太陽光発電施設）の今後について
- ④下水道事業の法適化について
- ⑤空き家対策について
- ⑥除雪について



議員5人による一般質問

質問 べっつかいの素晴らしい景観を 利活用した政策は



田村秀男議員

質問 交通の円滑化や景観を阻害させない対策は。

答弁 町道など約1240㎡については、路肩部の除草作業を6月から9月までの期間中2回実施している。

町内の国道120㎡については7月から8月の間、道々の250㎡については6月から7月の間、それぞれ年1回除草作業を実施していることを確認している。

質問 酪農地帯や海岸地帯の景観の利活用は。

答弁 「牧歌的な風景」や

回答の要約

360度カメラを活用したVR映像を来年度発表するほか、既存の景観映像の発信強化と新映像の配信も計画している。

「水平線」をはじめとする、広大なスケール感が当町の景観における最大の魅力と認識している。

枚方市・名護市・四万十市と、友好都市事業を通じ360度カメラを活用したVR（バーチャル・リアリティ）映像の発表を来年度予定している。

また、地域おこし協力隊活動の一貫として、既にある素晴らしい景観プロモーション映像のさらなる発信強化に向けた取組や新たな映像の配信についても計画している。

質問 景観施策のガイドラインとなる「景観計画」の策定は。

答弁 景観計画の策定や景観条例の制定については、地域の声を広く聴く必要がある

ので、「行政主導による」景観計画の策定は、現在のところ考えていない。

質問 当町をプロモーション（宣伝）する施策の一つとして、「味覚」「視覚」「聴覚」をミックスして内外に発信する施策の展開は。

答弁 ふるさと納税の寄付者様には、お礼品を送り「味覚」で魅力を伝え、ホームページなどを通じて「視覚」で当町の魅力を多くの方に伝える。移住定住促進事業では、お

試し住宅を整備し、滞在期間中にチーズやバターづくり、魚貝類の調理や釣りなどの体験を通じて「嗅覚」「触覚」で当町の魅力を体感してもらう。また、ご当地ソングを通じて当町の魅力を歌詞にのせて動画配信する「聴覚」での発信策を研究、実践しているところである。

住民と行政が協働しながら、これらの五感に訴える施策を駆使して、議員が述べられる交流人口・関係人口の増加により持続可能なまちづくりが推進されるよう、景観を利活用した政策の強化に努めている。



別海町への歓迎「屋外広告物」



詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問

問 新型コロナウイルス感染が広がる 子どもたちを守る施策は？



中村忠士議員

質問 中高生、学校職員の
ワクチン接種の状況は？

答弁 中高生、学校職員の
2回目接種率は、それぞれ54
%、59%となっている。

質問 子ども、関係職員、
保護者が無料で検査を受けら
れるようにする考えはないか。

答弁 町内の職場、学校な
どに、申請に基づき無料で「抗
原定性検査キット」を配布する。

質問 教室に換気機能付き
エアコン、または、高性能空
気清浄機を設置すべきでは。

回答の要約

抗原定性検査キットを職場・
学校に配布する。

一酸化炭素濃度測定器の設
置は。



教室や保健室など人の集まる場所に設置された空気清浄機

答弁 エアコンは設置され
ていないが、空気清浄機や扇
風機で換気を行っている。

空気清浄機整備率は、普通

教室78室のうち51室で65%。

一酸化炭素濃度測定器は、
換気を行う目安の一つになる
と考えている。

学校給食のアレル ギー対応の充実を

質問 新給食センターになっ
てからアレルギー対応食の提
供が一年以上休止され、今年
6月によりやく再開した。

大幅に遅れた原因は何か。

答弁 調理員が機器の操作
を習得し、安全に調理作業を
行うことができるようになる
のに一定程度の時間がかっ
た。

質問 文科省は、教育委員
会や給食センターに「対応の
方針」「対応マニュアル」を整
備するように言っているが、

それはいつ整備されたか。

答弁 現在策定中である。

質問 本来なら給食センター
が稼働する前に整備されてい
なければならぬ。

アレルギー対応品目が22か
ら10品目になった訳は。

答弁 重症化しやすく、発
症数の多い品目に限定した。

町営合葬墓の拡充を

質問 生前の使用申請が可
能になるようにとの要望があ
るが、町の考えは。

また、東西の町営霊園に合
葬墓をつくる考えはないか。

答弁 生前申請についても、
東西の建設についても、現在
実施する考えはないが、希望
が多くなければ検討する必要が
あると考えている。



議員5人による一般質問

質問 巨大地震を想定した津波対策は



瀧川榮子議員

質問 千島海溝で巨大地震

は、前回からすでに400年ほど経過しており、次の巨大地震が切迫している可能性が高いとされている。

別海町の津波最大値も公表された。道が発表した津波の高さ変更により、町の津波対策に変化はあるか。

答弁 基本的な変更はない。

道からの津波浸水想定を受け、ハザードマップを今年度中に策定し、来年度配布を予定している。

ハザードマップは、従来の冊子タイプに加え、Web版対応も想定している。

回答の要約

津波警報が発表された時は避難指示を待たずに避難所や高台に避難することが重要。

質問 海岸沿い道路には、

標高や避難所までの距離の明示があるが、地元以外の避難者を考慮した表示が必要では。

答弁 増設の考えはないが、

今後、道路管理者などに避難誘導標識に関し、住民意見の有無や内容について確認していく。

質問 地元住民の避難所利

用者が個人で備えておきたい物品の搬入について、住民の要望確認が必要ではないか。

答弁 各施設の保管場所には

限りがあり、個人の物品を

搬入することは難しいと考えるが、来年度以降の防災避難訓練などで確認していきたい。

質問 東日本大震災時、毎

月1回の避難訓練を行っていた保育所の子どもたち全員の命が守られた事例がある。

地域での自主的な避難訓練の充実も必要ではないか。

答弁 当町においても、毎

月地震・津波を想定した行動訓練を行っている。

自主的な防災活動についても、常に危機意識を持って取り組まれており、引き続きこれらの啓蒙を続けていく。



2011年に発生した東日本大震災の被災状況

働きやすい職場であるために

質問 道内の自治体でハラ

スメントによる自殺が報道されている。別海町ではハラスメントを防ぐためにどのような研修を受けているか。

答弁 別海町職員ハラスメ

ント防止等に関する要綱を作成し、所属長の責務を規定している。研修は北海道市町村職員研修センターで部下への接し方を含めたハラスメントに関する研修を受けている。

質問 悩みの情報をくみ取

り相談できる環境は。

答弁 総務部に苦情相談

窓口を設置している。

職場以外の相談窓口としては中標津保健所などの「ストレス相談窓口一覧」を作成し周知するなど、見えないところで悩んでいる人が相談しやすい体制を整えている。

津波がどれほどの力を持っているのか改めて考えたい。



詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問



町から事業者向けに配布されている新型コロナウイルス抗原定性検査キット

質問 ほとんどの公共施設を 利用可能とした町の考えは



木嶋悦寛議員

質問 新規感染者の公表は一週間まとめてではなく毎日必要だ。

また、コロナ対策会議の結果については速やかに公表を行うべきでは。

回答の要約

利用はできるが、使ってくださいではなく、使う場合は、町民一人一人の責任において感染対策を行ってほしい。別海町民はそれができると信じて開けた。

答弁

身近な感染状況を公表することは有用であり、8月28日に開催された管内市町長と根室振興局長とのオンライン会議において、市町村別感染者数を1週間ごとではなく、日別に公表するよう再考を強く求め、意見を道に伝える考えが示された。

町としても町立別海病院の陽性患者受け入れ状況を毎日更新して、町民に少しでも危機感を認識してもらえよう努めている。

今後、会議結果の速やかな公表も含め、有用な情報の提供に工夫を重ねていきたい。

質問 感染力が強く重症化のリスクが高いデルタ株に対する具体的な対策強化策は。

答弁

9月2日、対象者への接種券の発送はおおむね完了し、10月末までに2回目の接種の完了を見込んでいる。

また、町内の職場や学校などを対象とし、「抗原定性検査キット」の配布を行い、対策強化を進めているが、デルタ株への具体的な強化策は行っていない。

質問

他町と足並みをそろえ感染拡大を防ぐ広域での対策が必要だが、ほとんどの施設を利用可能とした町の考えは。

答弁

長きにわたるコロナ禍での町民の日常生活に、さらなる制限を課すことで与える精神的ストレスなどの影響を考慮し、ウィズコロナにおける社会生活の維持なども見据えて判断をした。

開けるということは使いなさいということではなく、使ってもいいですよということ。ただし、使う時には一人一人がしっかりと責任を持って感染対策を行ってくれるなら、施設を使ってもいいとの考え。

私は、うちの町民はやれる町民だと信頼して、施設を開放することにした。

質問

家庭内で小さなお子さんだけが感染を免れ、近くに親族がいない場合にどのような対策を考えているか。

答弁

濃厚接触者であるお子さんも経過観察のため一緒に入院措置をとるなど、保健所と保護者などで相談し、お子さんの一時的な養育について対応しているとのこと。

町としては、保健所などと相互に連携し、感染された家族などが安心して療養できる体制づくりに努めたい。



議員5人による一般質問

質問 男女混合名簿や呼名「○○さん」の取り組みは



外山浩司議員

質問 東京オリンピックでは「多様性と調和」を掲げてきたが、「男性中心の組織や決定」などジェンダー平等とかけ離れた行動が見られ、国際社会から非難を受けていた。

学校でも、男女平等社会に向けた「男女混合名簿」や「○○さん」の呼名への取り組みが必要と考えるが、教育委員会の考えは。

答弁 男女混合名簿は、今年度10校が取り組んでいる。

「○○さん」付けで呼ぶなどの呼称の統一を進めている学校もある。

回答の要約

校長会、教頭会と協議しながらさらに進めていく。

質問 町全体で取り組むために校長会、教頭会と連携しての取り組みが必要では。

答弁 学校判断であるが「○○さん」と統一し、心穏やかに変わった事例もある。校長会などと議論していく。

質問 「○○さん」の呼称に取り組んでいる学校では、入学してきた低学年の指導が難しいとの話があった。

横との連携を図り、幼稚園や保育園での取り組みも必要ではないか。

答弁 発達段階を考慮しな

がら、より慎重に対応する必要がある。子どもたちの実態を捉えている各園が判断することが適切である。

通信機器の貸し出しや通信費の補助を

質問 タブレットを使用した授業が進められ、子どもたちの学習意欲や理解の一助になっている。

今後、家庭に持ち帰り、オンラインによる活用が期待される。機器の貸し出しや通信費の家庭負担については。

答弁 就学支援を受けている家庭に、ルーターの無償貸与や通信費の補助をしている。今後の臨時休校の場合など、学びの保障からもオンライン学習ができるように保護者の理解を得ながら進めていく。

質問 家庭に持ち帰り、万が一、タブレットを破損させた場合の対応は。

答弁 重大な過失のない限り、基本的に公費で修理などを行う。

質問 高学年や中学生では、学習に必要なないサイトにアクセスすることが考えられるが対応は。

答弁 有害サイトフィルタリングソフトを導入し、アクセスできないようにしているが100%ではない。

保護者の管理・監督のもと適切に使用すること、使用する児童生徒のモラルの育成を図っていく。



楽しいタブレットの授業（上風連小学校）

定例会・臨時会のまとめ

令和3年第3回定例会会議結果報告 議会基本条例を 全会一致で可決

第3回定例会の概要

9月13日に招集され、会期を9月17日までの5日間に決定。

1日目 9月13日

町長から行政報告、副町長から提出案件の概要説明、担当部・課長から議案の内容説明が行われました。

町長からの行政報告

●新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況

●緊急事態宣言延長に伴う公共施設の利用

●産業の動向

議案などの内容説明

●各会計補正予算3件を予算決算審査特別委員会に付託

●条例の一部改正

●令和2年度決算認定8件を予算決算審査特別委員会に付託

●放棄した債権の報告

●令和2年度決算に基づく別

海町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

●工事請負契約の一部変更に係る専決処分の報告3件

2日目 9月14日

本会議を休会し、予算決算審査特別委員会では令和3年度各会計補正予算3件を審査。総務文教常任委員会開催。

予算に関する主な質疑

●ふるさと応援寄附金・基金積立金・制度推進事業

(中村委員)

●地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

(中村委員・瀧川委員)

3日目 9月15日

本会議を再開し、議員5人が一般質問。

4日目 9月16日

本会議を休会し、産業建設常任委員会と福祉医療常任委員会を開催。

5日目 9月17日

最終日は、特別委員会付託審査事件結果報告と別海町自治基本条例の一部を改正する条例の討論・採決が行われ全会一致で可決。

小林議員発議による「別海町議会基本条例」を議会における最高規範に位置づける新規条例として可決。

議会は、町長とその他の執行機関及び住民との対話を重ね、最良な意思を決定し、町民福祉の向上及び持続可能なまちづくりを推進するとともに、既存の枠組みに捉われない新たな政策形成機能を有する政策議会を目指します。

議員は、町民参加による「わかりやすい議会」、議員間討議と委員会活動の強化による「行動する議会」を基本理念として活動する責務を定めています。

木嶋議員発議による「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」および「国土強靱化に資する社会資本整備等

に関する意見書」を原案通り可決。

別海町議会地域めぐり懇談会に議員派遣を決定。

各常任委員会の閉会中の継続調査事件を決定しました。

第4回臨時議会の概要

7月29日に開催され、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る令和3年度一般会計補正予算、法の改正に基づく条例の一部改正2件、5千万円以上の工事請負契約の締結2件、財産の取得議案を可決しました。

第5回臨時議会の概要

8月27日に開催され、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る令和3年度一般会計補正予算、生涯学習センター外構工事に係る工事契約の締結と家具等の財産取得に係る議案を可決。

車両損害に係る和解及び損害賠償とイースタウン寿団地公営住宅に係る請負契約の一部変更の専決処分の報告が2件ありました。

シリーズ 町民に 聞きました

ウィズコロナ時代の新しいカタチ

産業建設常任委員会で商工会とオンライン意見交換を実施した際に、ウィズコロナ時代の新しいカタチについてお話を伺いました。



広報委員 今回のはじめてオンラインでの意見交換を実施しましたが、どうでしたか。

商工会 商工会の業務でも、会議や研修などオンラインでの実施が増えているので、違和感なく行えました。

ただ、オンラインでは細かいニュアンスが伝わりづらかったりする面もあるので、顔合わせなどは対面で実施したい時もあると感じています。

広報委員 商工会の会議などで変わったところはありますか。

商工会 遠隔地での会議など、ほとんどがオンラインでの参加になりました。最初は戸惑いもありましたが、慣れてみるとオンラインで十分に役割を果たせると実感し、時間と予算の削減に繋がっています。

地元で開催する部会や役員会は、細やかなやり取りが必要な話し合いが多いため、換気や消毒、密を避けるなど感染症対策を万全に行っているだけ対面で開催しています。

広報委員 今年度の地域めぐり懇談会はオンラインで開催しますが、どう考えていますか。

商工会 住民と直接対面して意見を交わす意味も大きいと思います。

しかし、時間と場所の制限が小さくなって、広く参加しやすくなるメリットもあると感じています。

また、地域めぐり懇談会だけでなく、定例会もインターネットで中継してほしいです。

普段は業務があるのでなかなか傍聴しに行けませんが、関係する議案の審議や一般質問など、気軽に議会を傍聴できるので検討する価値があると思います。

議会の傍聴の際はマスクを持参ください！

議会の会議は、誰でも傍聴することができますが、コロナウイルス感染症対策のため、発熱がなくマスクを持参される方に限りますのでご了承ください。

令和3年12月定例会の予定

12月13日(月) 10時～

1日目 本会議(議案の説明・質疑など)

12月14日(火) 10時～

2日目 本会議(一般質問)

12月15日(水) 10時～

3日目 本会議(一般質問)

予算決算審査特別委員会

12月16日(木) 10時～

4日目 常任委員会

12月17日(金) 10時～

5日目 本会議(議案の討論・採決など)

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

12月											
			1	2	3	4					
5	6	7	8	9	10	11					
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25					
26	27	28	29	30							

議会のうごき 6月定例会終了後から9月定例会まで

議長、副議長、各議員(委員)の動向について

期 日	内 容	備 考
8月15日	別海町戦没者追悼式 (別海町)	議長

地域めぐり懇談会

YouTubeにてライブ配信
11月25日(木) 15時～16時30分

コメントでご意見をお寄せください。



別海町におけるコロナ禍の今とこれから

- G I G Aスクール構想とコロナ禍の教育
- コロナ禍で福祉施設と病院はどう変わった
- 別海町の地域経済はコロナ禍をどう乗り切るか

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの**密**を避けましょう！